

国の手引きに基づく
教育・保育および地域子ども・子育て支援事業の
量の見込みについて

1. 教育・保育の量の見込みの算出

(1) 1号認定（教育のみ利用、保育の必要性なし）

■国手引き

①対象

年齢：3歳以上

潜在家庭類型：C'、D、E'、F

②利用意向率

問16に回答した者のうち、「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」を選択した者の割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。

③量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」＝「量の見込み（人）」

国の調査票・問16は高砂市調査票・問10

■3歳～就学前家庭のみ

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家族類型(割合)	c:家族類型別児童数
タイプA ひとり親	2,408	0.072	174
タイプB フルタイム×フルタイム		0.243	585
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.226	545
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0.115	276
タイプD 専業主婦(夫)		0.340	818
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.000	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0.000	0
タイプF 無業×無業		0.004	10

<ニーズ量の算出>

①<1号認定>(認定こども園及び幼稚園)

	c:家族類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	276	1.000	276
タイプD 専業主婦(夫)	818	0.962	787
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0	0.000	0
タイプF 無業×無業	10	1.000	10

合計 1,073

(単位:人)

	実績 H25.5.1	推計				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
全市		1,073	1,036	1,009	998	1,003

(2) 2号認定（幼稚園の利用希望が強いと想定されるもの）

■国手引き

①対象

年齢：3歳以上
潜在家庭類型：A、B、C、E

②利用意向率

問 15-1 に回答した者のうち、「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」を選択した者の割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。

③量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」＝「量の見込み（人）」

国の調査票・問 15-1 は高砂市調査票・問 9

■3歳～就学前家庭のみ

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家族類型(割合)	c:家族類型別児童数
タイプA ひとり親	2,408	0.072	174
タイプB フルタイム×フルタイム		0.243	585
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.226	545
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0.115	276
タイプD 専業主婦(夫)		0.340	818
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.000	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0.000	0
タイプF 無業×無業		0.004	10

②<2号認定>(幼稚園)

	c:家族類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	174	0.094	16
タイプB フルタイム×フルタイム	585	0.046	27
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	545	0.187	102
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0.000	0

合計 145

(単位:人)

	実績 H25.5.1	推計				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
全市		145	140	136	135	135

(3) 2号認定（保育所及び認定こども園）

■国手引き

①対象

年齢：3歳以上
潜在家庭類型：A、B、C、E

②利用意向率

問16に回答した者のうち、問16で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」から「10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）」のいずれかを選択した者の割合（但し、無回答を除いて割り戻す）から、「2号認定（幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの）」の割合を控除した割合を算出する。

③量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」＝「量の見込み（人）」

国の調査票・問16は高砂市調査票・問10

■3歳～就学前家庭のみ
<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家族類型(割合)	c:家族類型別児童数
タイプA ひとり親	2,408	0.072	174
タイプB フルタイム×フルタイム		0.243	585
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.226	545
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0.115	276
タイプD 専業主婦(夫)		0.340	818
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.000	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0.000	0
タイプF 無業×無業		0.004	10

③<2号認定>(認定こども園及び保育所)

	c:家族類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	174	0.847	147
タイプB フルタイム×フルタイム	585	0.909	531
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	545	0.801	437
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0.000	0

合計 1,115

(単位:人)

	実績 H25.4.1	推計				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
全市	1,496	1,115	1,077	1,050	1,038	1,043

(4) 3号認定

■国手引き

①対象

年齢：0歳、1・2歳
 潜在家庭類型：A、B、C、E

②利用意向率

問 16 に回答した者のうち、問 16 で「3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」から「10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）」のいずれかを選択した者の割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。

③量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」＝「量の見込み（人）」

国の調査票・問 16 は高砂市調査票・問 10

■0歳家庭のみ

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家族類型(割合)	c:家族類型別児童数
タイプA ひとり親	734	0.040	29
タイプB フルタイム×フルタイム		0.282	207
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.090	66
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.006	4

<ニーズ量の算出>

①<3号認定>(認定こども園及び保育所+地域型保育)

	c:家族類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	29	0.714	21
タイプB フルタイム×フルタイム	207	0.857	178
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	66	0.909	60
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	4	0.000	0

合計 259

0歳児

(単位:人)

	実績 H25.4.1	推計				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
全市	54	259	256	252	247	242

■1・2歳家庭のみ

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)		b:潜在家族類型(割合)	=	c:家族類型別児童数
タイプA ひとり親	1,491	×	0.065	=	97
タイプB フルタイム×フルタイム		×	0.280	=	417
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		×	0.156	=	233
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		×	0.002	=	3

<ニーズ量の算出>

①<3号認定>(認定こども園及び保育所+地域型保育)

	c:家族類型別児童数		d:利用意向率(割合)	=	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	97	×	0.778	=	76
タイプB フルタイム×フルタイム	417	×	0.888	=	370
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	233	×	0.920	=	214
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	3	×	1.000	=	3

合計 664

※

1～2歳児

(単位:人)

	実績 H25.4.1	推計				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
全市	600	664	672	661	653	643

※タイプ別ニーズ量は1の位までの表記になっているが、実は小数点以下が隠れている。従って、タイプ別をニーズ量の合計と、合計欄が一致しない場合がある。以下同様。

2. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みの算出

(1) 延長保育事業

■国手引き

①対象

年 齢：0歳から5歳
潜在家庭類型：A、B、C、E

②利用意向率

問 16 に回答したもののうち、「3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」から「10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）」のいずれかを選択している、かつ、問 15-2 (2) (利用希望時間) で、「18 時以降」と記入してある場合の割合を算出する。(ただし、無回答を除いて割り戻す)

③量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」＝「量の見込み（人）」

国の調査票・問 16 は、高砂市調査票・問 10
国の調査票・問 15-2 (2) は、高砂市調査票・問 9-1 (2)

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	4,633	0.066	304
タイプB フルタイム×フルタイム		0.259	1,201
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.187	867
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.001	7

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	304	0.446	136
タイプB フルタイム×フルタイム	1,201	0.373	448
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	867	0.093	80
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	7	0.000	0

【注】0～5歳以下家庭のみ

合計 664

(単位:人)

	実績 H25年度	推計				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
実児童数	268	664	654	641	632	628

(2) 放課後児童健全育成事業

■国手引き

①対象

年 齢：5歳児

潜在家庭類型：A、B、C、E

②利用意向率

低学年：問 26 で「6. 放課後児童クラブ [学童保育]」を選択した割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。

高学年：問 27 で「6. 放課後児童クラブ [学童保育]」を選択した割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。

ただし、「6. 放課後児童クラブ [学童保育]」の利用希望を選択し、かつ、6. 以外の選択肢も選択している者で「6. 放課後児童クラブ [学童保育]」の利用希望が週1～2回程度であれば、各自治体の実情に応じて、当該者の割合を控除して算出することも可能とする。

③量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」＝「量の見込み（人）」

国の調査票・問 26、問 27 は、高砂市調査票・問 20

<低学年>

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数(人)
タイプA ひとり親	2,488	0.072	180
タイプB フルタイム×フルタイム		0.243	604
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.226	563
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.000	0

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数(人)	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	180	0.200	36
タイプB フルタイム×フルタイム	604	0.091	55
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	563	0.149	84
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0.000	0

【注】6歳~8歳家庭のみ

合計 175

<高学年>

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数(人)
タイプA ひとり親	2,538	0.072	184
タイプB フルタイム×フルタイム		0.243	616
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.226	575
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.000	0

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数(人)	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	184	0.235	43
タイプB フルタイム×フルタイム	616	0.106	66
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	575	0.194	112
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0.000	0

【注】9~11歳家庭のみ

合計 220

(単位:人)

	実績 H25年度	推計				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
低学年	656	175	171	170	167	161
高学年		220	220	215	213	208
合計	656	395	391	385	380	369

(3) 子育て短期支援事業

■国手引き

①対象

年 齢：0歳から5歳

潜在家庭類型：すべて

②利用意向率

問25に回答した者のうち、「イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）」、「オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した者の割合を算出する。

ただし、「エ. 仕方なく子どもを同行させた」や、問25-1（親族・知人にみてもらった時の困難度）の設問を設けている場合、「ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と回答した者のうち、「1. 非常に困難」「2. どちらかという困難」と回答した割合を加えることも可能とする。

③利用意向日数

問25が「1. あった」者のうち、「イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した」、「オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」に回答のあった者の「平均日数」を算出する。

④量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率」×「利用意向日数」＝「量の見込み（人日）」

<留意事項>

就学児に対して調査を行っていない場合は、就学前子どもに係る推計で足りるが、就学児に調査を行っている場合や事業の利用実績データがある場合には、市町村の判断で、当該調査の結果等を使用して、就学児に係る量の見込みを算出することも可能とする。

国の調査票・問25は、高砂市調査票・問16

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	4,633	0.066	304
タイプB フルタイム×フルタイム		0.259	1,201
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.187	867
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0.110	511
タイプD 専業主婦(夫)		0.374	1,733
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.001	7
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0.000	0
タイプF 無業×無業		0.002	10

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人日)
タイプA ひとり親	304	0.123	37
タイプB フルタイム×フルタイム	1,201	0.012	14
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	867	0.003	3
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	511	2.844	1,453
タイプD 専業主婦(夫)	1,733	0.000	0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	7	0.000	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0	0.000	0
タイプF 無業×無業	10	0.000	0

【注】0~5歳以下家庭のみ

合計 1,507

(単位:人日)

	実績 H24年度	推計				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用児童数	10	1,507	1,484	1,454	1,435	1,426

(4) 地域子育て支援拠点事業

■国手引き

①対象

年 齢：0歳から2歳
潜在家庭類型：すべて

②利用意向率

問 17 で「1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）（を利用している）」と回答した者の人数と、問 18 で、「1. 利用していないが、今後利用したい」と回答した者の人数を、回答者全体の人数（問 17 または問 18 の無回答の人数を除く）で割ったものを算出する。

③利用意向回数

問 17 で「1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）（を利用している）」と回答した者と、問 18 で、「1. 利用していないが、今後利用したい」「2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した者の月当たり平均利用回数。

④量の見込みの算出

$$\text{「家庭類型別児童数（人）」} \times \text{「利用意向率（割合）」} \times \text{「利用意向回数（回）」} \\ = \text{「量の見込み（人回）」}$$

国の調査票と高砂市調査票の間番号は同じ

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	2,225	0.058	129
タイプB フルタイム×フルタイム		0.281	624
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.137	305
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0.106	235
タイプD 専業主婦(夫)		0.416	925
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.003	7
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0.000	0
タイプF 無業×無業		0.000	0

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人回)
タイプA ひとり親	129	1.619	208
タイプB フルタイム×フルタイム	624	2.378	1,484
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	305	2.478	755
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	235	2.704	635
タイプD 専業主婦(夫)	925	4.216	3,901
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	7	3.188	23
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0	0.000	0
タイプF 無業×無業	0	0.000	0

【注】0~2歳以下家庭のみ

合計 7,007

(単位:人日)

	実績 H24年度	推計				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用児童数	11,837	7,007	7,042	6,935	6,831	6,714

(5) 一時預かり事業

(5) - 1 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（在園児型）

1) 1号認定による利用

■国の手引き

①対象

年 齢：3歳から5歳

潜在家庭類型：C'、D、E'、F

②利用意向率

ア（1号認定に該当すると考えられる子どもの不定期事業の利用希望割合）×

イ（不定期事業を利用している幼稚園利用者の一時預かり又は幼稚園の預かり保育の利用割合）
を算出する。

※ア：以下の割合

問16で、「1. 幼稚園（通常就園時間の利用）」または「4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」を選択 かつ 問24で、「1. 利用したい」と選択した者が、これらの間の回答者数に占める割合

※イ：以下の割合

問15-1で、「1. 幼稚園（通常就園時間の利用）」を選択 かつ 問23で、「1. 一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）」から「6. その他」を選択した者のうち、問23で「1. 一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）」または「2. 幼稚園の預かり保育（通常就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ）」を選択した者の割合

③利用意向日数

問24で「1. 利用したい」に回答のあった者の「平均日数」を算出する。

④1号認定による利用見込み

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率」×「利用意向日数（日）」＝「量の見込み（人日）」

国調査票・問16は、高砂市調査票・問10

国調査票・問15-1は、高砂市調査票・問9

国調査票・問23は、高砂市調査票・問14

国調査票・問24は、高砂市調査票・問15

<幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)>

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	2,408	0.115	276
タイプD 専業主婦(夫)		0.340	818
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0.000	0
タイプF 無業×無業		0.004	10

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人日)
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	276	10.9	3,017
タイプD 専業主婦(夫)	818	9.1	7,441
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0	0.0	0
タイプF 無業×無業	10	0.0	0

【注】3~5歳以下家庭のみ

合計 10,458

(単位:人日)

	実績 H24年度	推計				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用児童数		10,458	10,097	9,841	9,732	9,776

2) 2号認定による利用

■国の手引き

①対象

年齢：3歳から5歳
潜在家庭類型：A、B、C、E

②利用意向率

1.0

※「2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの」は、「幼稚園における在園児を対象とした一時預かり」を利用することによりニーズがカバー。

③利用意向日数

2号認定のうち、幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるものの問12(1)-1で把握する「就労日数」

※1週当たりα日 × 52週

④2号認定による利用の量の見込みの算出

ア 家庭類型別児童数の算出

「2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定される者」の数

イ 量の見込みの算出

「家庭類型別児童数(人)」×「利用意向率」×「利用意向日数(日)」＝「量の見込み(人日)」

国調査票・問12(1)-1は、高砂市調査票にはないため、問9-1(2)で代用

②<2号認定>による利用

	利用意向率(割合)	就労日数(日)	利用意向
タイプA ひとり親	1.000	256.100	256.1
タイプB フルタイム×フルタイム	1.000	267.280	267.3
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1.000	249.600	249.6
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1.000	0.000	0.0

<2号認定による定期的な利用>

<家族類型別児童数の算出>

	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	16
タイプB フルタイム×フルタイム	27
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	102
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人日)
タイプA ひとり親	16	256.1	4,205
タイプB フルタイム×フルタイム	27	267.3	7,111
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	102	249.6	25,413
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0.0	0

【注】3～5歳以下家庭のみ

合計 36,729

(単位:人日)

	実績 H24年度	推計				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用児童数		36,729	35,463	34,563	34,182	34,334

(5) - 2 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（在園児型以外）
 = 保育所の一時的預かり

■国の手引き

①対象

年 齢：0歳から5歳

潜在家庭類型：すべて

②利用意向率

問24に回答した者のうち、「1. 利用したい」を選択した者の割合

③利用意向日数

問24)で、「1. 利用したい」に回答のあったものの「平均日数」

③量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率」×「利用意向日数（日）」＝「量の見込み（人日）」

国の調査票・問24は、高砂市調査票・問15

<上記以外>

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	4,633	0.066	304
タイプB フルタイム×フルタイム		0.259	1,201
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.187	867
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.110	511
タイプD 専業主婦(夫)		0.374	1,733
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.001	7
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.000	0
タイプF 無業×無業		0.002	10

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	幼稚園における在園児を対象とした一時預かりのニーズ量
タイプA ひとり親	304	10.280	
タイプB フルタイム×フルタイム	1,201	9.998	
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	867	8.571	
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	511	16.568	3,017
タイプD 専業主婦(夫)	1,733	10.245	7,441
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	7	0.000	
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.000	0
タイプF 無業×無業	10	7.250	0

【注】0～5歳以下家庭のみ

	問23「5. ベビーシッター」「6. その他」の利用(人日)	e:ニーズ量(日)
-タイプA		3,123
-タイプB		12,012
-タイプC		7,427
-タイプC'		5,448
-タイプD		10,314
-タイプE		0
-タイプE'		0
-タイプF		75

合計 38,400

(単位:人日)

	実績 H25年度	推計				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用児童数	983	38,400	38,001	37,276	36,773	36,445

(6) 病児・病後児保育事業

■国の手引き

①対象

年 齢：0歳から5歳
潜在家庭類型：A、B、C、E

②病児・病後児の発生頻度

問22-1で、「ア. 父親が休んだ」「イ. 母親が休んだ」に回答した者のうち、問22-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した者と、問22-1で「オ. 病児・病後児の保育を利用した」「キ. ファミリー・サポート・センターを利用した」「ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した者の合計を問22の回答者全員で割る。

③利用意向日数

上記対象者について、問22-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答があった日数の総計と、問22-1で「オ. 病児・病後児の保育を利用した」「キ. ファミリー・サポート・センターを利用した」「ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した日数の総計を足し合わせる。

先に求めた「日数の総計」について、問22-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」、問22-1で「オ. 病児・病後児の保育を利用した」「キ. ファミリー・サポート・センターを利用した」「ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」のいずれかに回答があった人数の合計（「延べ」でなく「実人数」、**「0日」回答は除く**）で割った数。

④量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（人）」×「病児・病後児の発生頻度（割合）」×「利用意向日数（日）」
＝「量の見込み（人日）」

国調査票・問22-1は高砂市調査票・問13-1

国調査票・問22-2は高砂市調査票・問13-2

<0～5歳以下家庭のみ>

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	4,633	0.066	304
タイプB フルタイム×フルタイム		0.259	1,201
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.187	867
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.001	7

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人日)
タイプA ひとり親	304	2.300	699
タイプB フルタイム×フルタイム	1,201	2.948	3,542
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	867	1.446	1,253
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	7	0.000	0

合計 5,493

(単位:人日)

	実績 H25年度	推計				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用児童数	193	5,493	5,408	5,298	5,229	5,197

(7) ファミリー・サポート・センター事業（子育て援助活動支援事業）

■国の手引き

①対象

年 齢：5歳児
潜在家庭類型：すべて

②利用意向率

低学年・高学年ともに、問26、問27で「7. ファミリー・サポート・センター」を選択した割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。

③利用意向日数

低学年は問26、高学年は問27で「7. ファミリー・サポート・センター」と回答のあったものの平均日数を算出する。

④量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」×「利用意向日数（日）」
＝「量の見込み（人日）」

国調査票・問26、問27は高砂市調査票・問20

<低学年>

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	2,488	0.072	180
タイプB フルタイム×フルタイム		0.243	604
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.226	563
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0.115	285
タイプD 専業主婦(夫)		0.340	845
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.000	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0.000	0
タイプF 無業×無業		0.004	10

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人日)
タイプA ひとり親	180	0.000	0
タイプB フルタイム×フルタイム	604	0.018	11
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	563	0.000	0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	285	0.000	0
タイプD 専業主婦(夫)	845	0.014	12
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0.000	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0	0.000	0
タイプF 無業×無業	10	0.000	0

【注】6歳~8歳家庭のみ

合計 23

<高学年>

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	2,538	0.072	184
タイプB フルタイム×フルタイム		0.243	616
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.226	575
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0.115	291
タイプD 専業主婦(夫)		0.340	862
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.000	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0.000	0
タイプF 無業×無業		0.004	10

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人日)
タイプA ひとり親	184	0.000	0
タイプB フルタイム×フルタイム	616	0.021	13
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	575	0.000	0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	291	0.000	0
タイプD 専業主婦(夫)	862	0.015	13
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0.000	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0	0.000	0
タイプF 無業×無業	10	0.000	0

【注】9~11歳家庭のみ

合計 26

(単位:人日)

	実績 H24年度	推計				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
低学年	1,408	23	26	25	25	24
高学年		26	26	25	25	24
合計	1,408	48	51	50	50	48